

< 工程検査規格 - 配合工程編 >

表.E-2-1 配合工程検査方法

工程	管理項目		検査頻度	検査方法	判定基準	不合格の処置	
配合	粗粒率	砕砂	1回/日	JIS A 1102	2.70±0.15	配合設計標準(B-2)により標準配合の修正を行う 製造業者に連絡して原因調査及び品質改善を依頼する	
	実績率	砕石2005	1回/週	JIS A 1104	62.0±2.0 %	配合設計標準(B-2)により標準配合の修正を行う 製造業者に連絡して原因調査及び品質改善を依頼する 必要に応じて混合比率の変更を検討する	
		砕石4005			63.0±2.0 %		
	表面水率	砕砂	3回/日 ⁽¹⁾ 及び 必要の都度 ⁽²⁾	1回/週	JIS A 1111	0~10 %	水切りを行ない、表面水が安定するまで別のスツッパ ^ド のものを使用する
		砕石2015					
		砕石1505	JIS A 1803	0.5±0.2 %			
		砕石4020					
現場配合の指示方法		配合設計標準(B-2)の9.及び10.による					

注⁽¹⁾ 原則として出荷前、10時頃及び13時頃とする。

注⁽²⁾ スランプの目視検査で異常が認められた場合等に検査を行う。

備考1 試料採取方法

管理項目	採取場所	採取量
細骨材の粗粒率	引き出しベルコン上	約 2kg
細骨材の表面水率		約 2kg
粗骨材の実績率		各々約15kg
粗骨材の表面水率		約10kg